SANUS VISIONMOUNT

VSL12 壁掛け金具
取 扱 説 明 書

----- 重量 13.6kg 以下 の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、VSL12 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VSL12 は 13 ～ 26V 型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

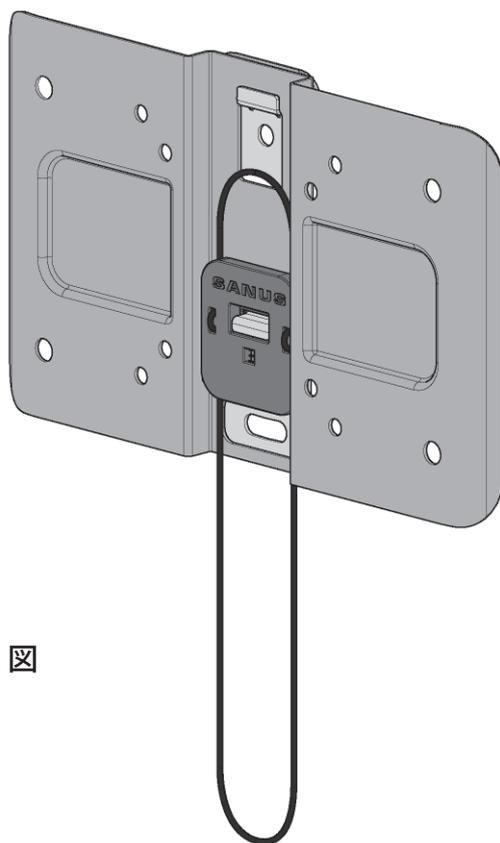
お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。 必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

A 図

VSL12 ver1.0-1

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明してます。

⚠ 警告	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。（してはいけない禁止内容）
⊘	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容）
●	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。（気をつける内容）

⚠ 警告

⚠ 禁止

壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。
VSL12 壁掛け金具は、13V 型～ 26V 型で、総重量 13.6kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
又、木製やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。

⊘

工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠

取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⊘

荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。

⊘

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

⚠ 禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

●

テレビの取り付けや取り外し作業は２人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

⚠ 禁止

本製品には小さな部品が同梱してあり、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。

⊘

取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

●

組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

●

壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

⊘

ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

2．部品一覧表

注意：本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

1．組み立てを始める前に、部品が全て揃っており、破損していないことを確認してください。
2．足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株）のスタマーサービスまでご連絡ください。
3．破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

B 図

モニターブラケット
[01] x 1

[02] x 1
壁面取付金具

M4 x 12mm
[03] x 4

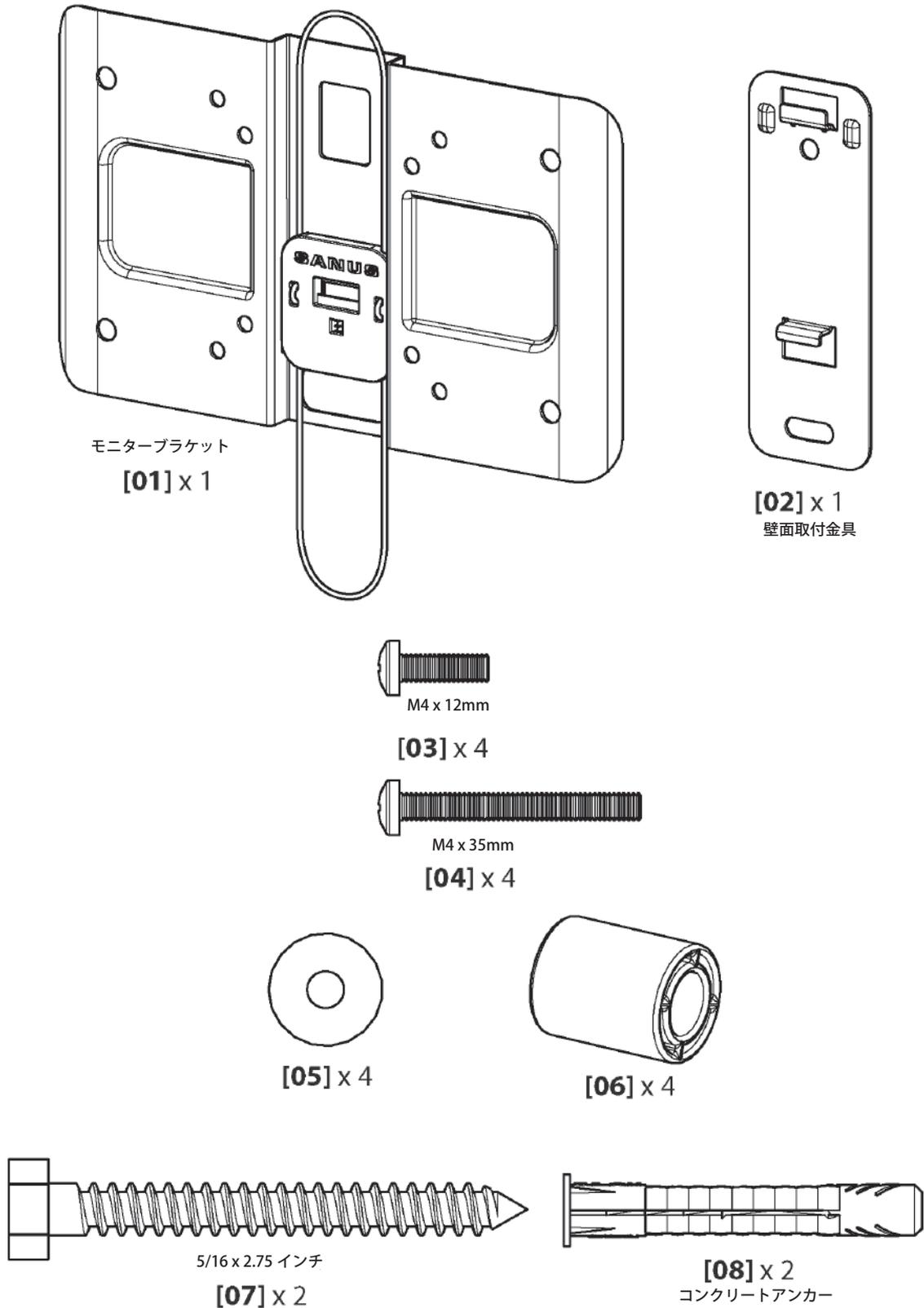
M4 x 35mm
[04] x 4

[05] x 4

[06] x 4

5/16 x 2.75 インチ
[07] x 2

[08] x 2
コンクリートアンカー

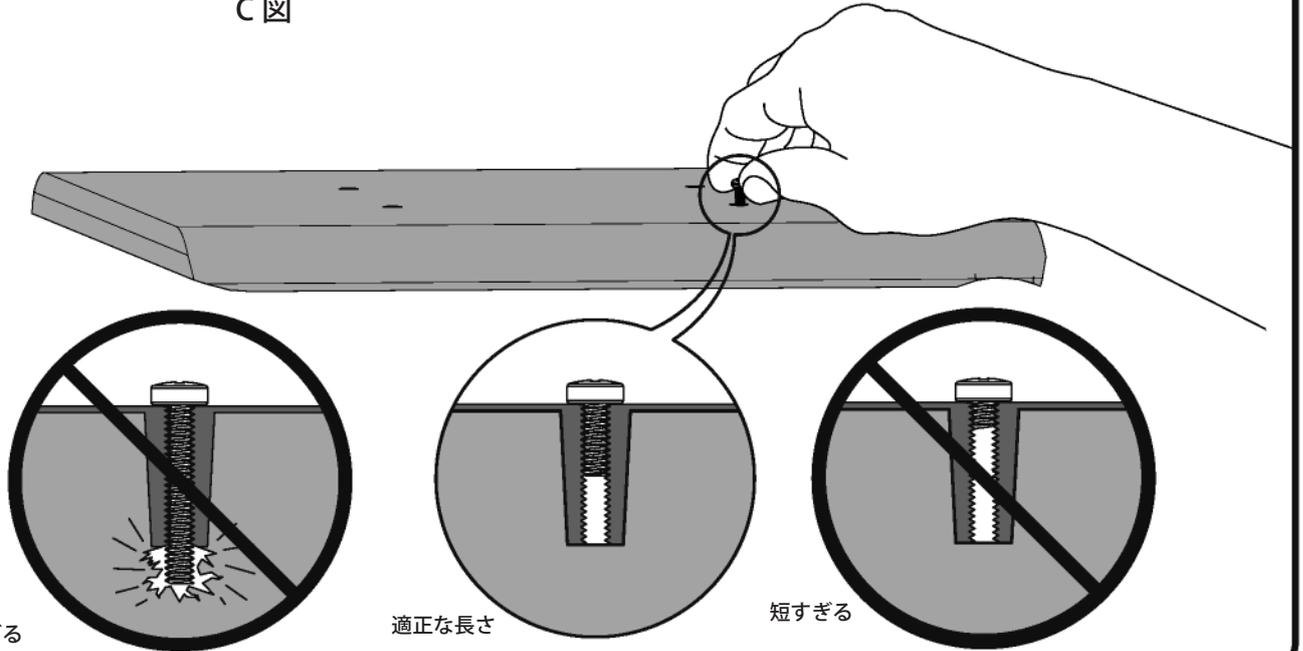
VSL12 ver1.0-3

3．組み立て方法　1．薄型テレビの背面形状と、取付ネジの長さについて

1－1　取付ネジの長さの調査

薄型テレビをモニターブラケット [01] に固定する為のネジの長さが十分かを確認します。
テレビの背面のネジ穴に、ネジを手でねじ込んで、正しいネジの長さかを調査します。
万一ねじ込んでいて抵抗があった場合、直ちにねじ込むのを中止し、一段短いネジで固定します。

注意：怪我をしたり、壁面を破損しないように注意して下さい。ネジとスペーサーの長さは、必要に応じて最も短い物を使用します。

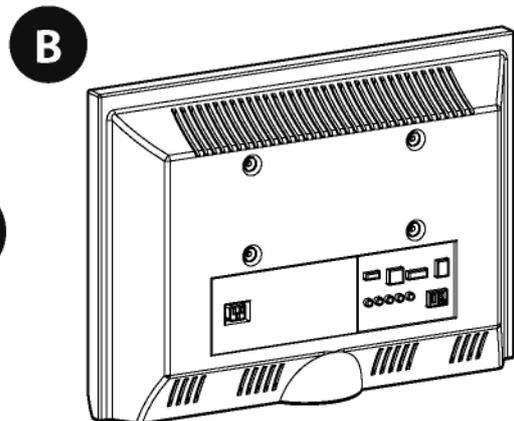
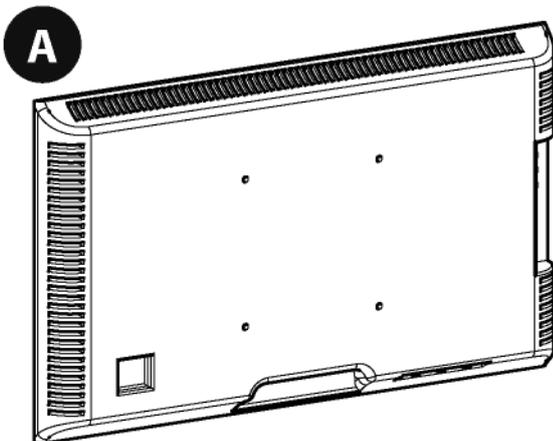
C 図

長すぎる　適正な長さ　短すぎる

必要最小限の長さのネジ使用しなければなりません。使用するネジ長が長すぎる場合、モニター内部のコンポーネントを破損する恐れがあります。

1－2　モニターブラケット取付部品の選択

お使いの薄型テレビのタイプによって、使用する部品類や、モニターブラケットの取付方法が決まります。
次の２つの中から最適なものを選び、次ページの部品を選択して下さい。

A タイプ　背面が平らな薄型テレビで、スペーサーを使用しないで取り付ける場合。
B タイプ　背面が曲がっていたり、障害物があったり、取付穴が埋め込まれていたりして、スペーサーを使用する場合。

A　OR　B

D 図

1－3　モニターブラケットの薄型テレビへの取付

E 図

テレビの背面が平らな場合

モニターブラケット [01] が、左図の様に薄型テレビと水平になるようにネジ [03] 及びワッシャー [05] で取り付けます。
ケーブル類等の障害物があったり、取付穴付近が窪んでいたり、突起等がある為に余分なスペースが必要な場合は F 図の様にスペーサーを用いて取り付けます。

詳細図

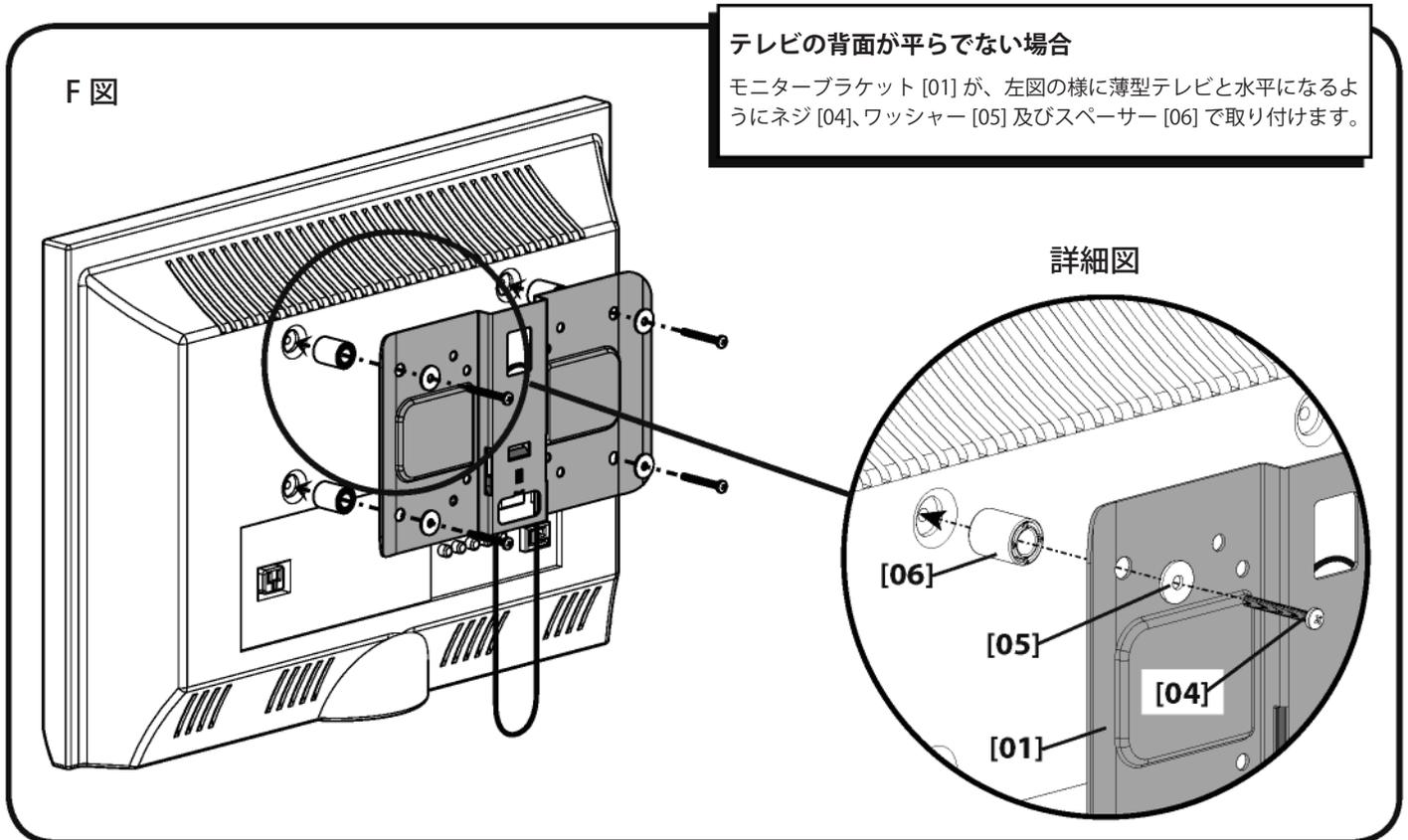
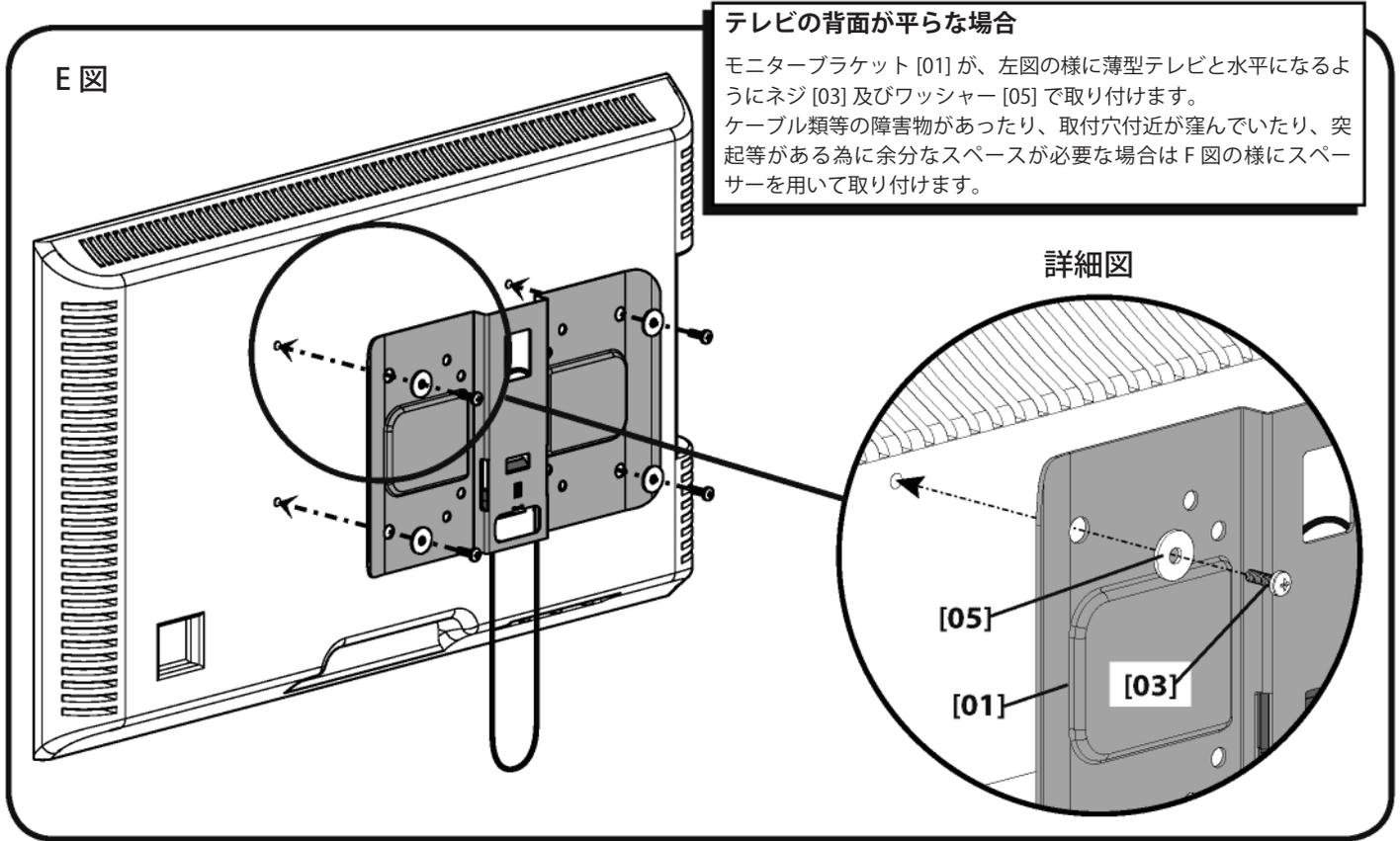
[05] [03] [01]

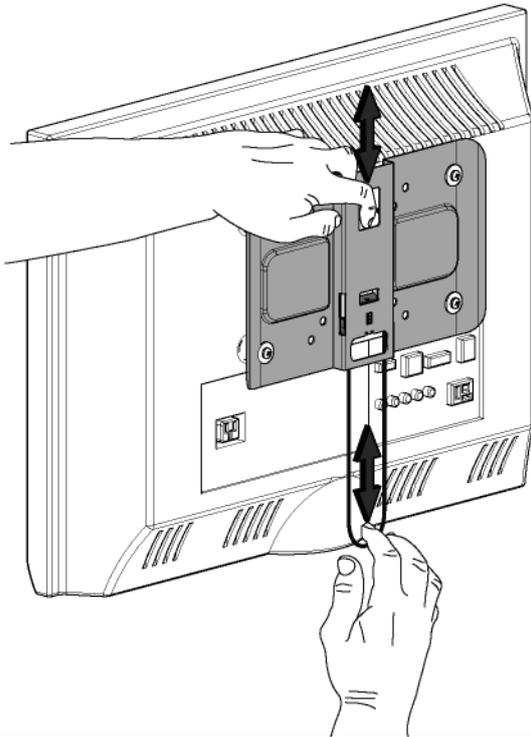
F 図

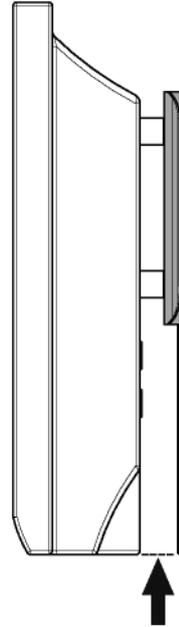
テレビの背面が平らでない場合

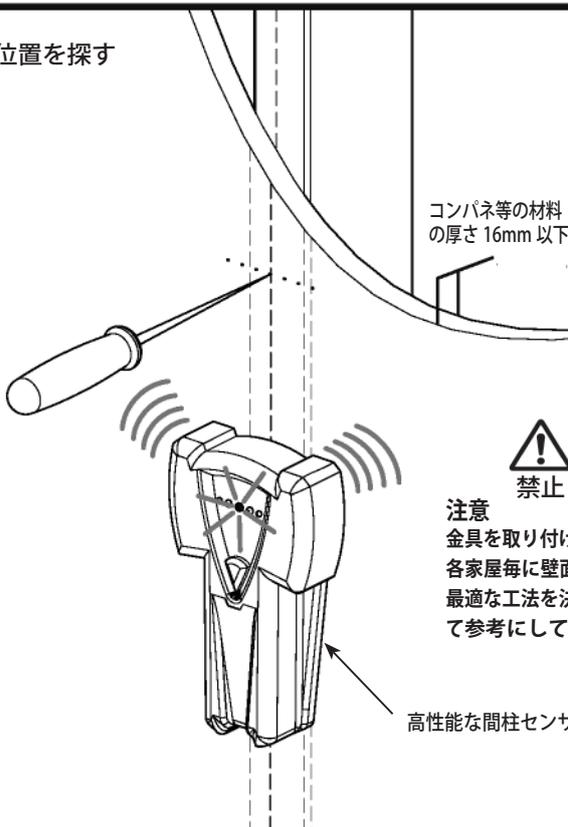
モニターブラケット [01] が、左図の様に薄型テレビと水平になるようにネジ [04]、ワッシャー [05] 及びスペーサー [06] で取り付けます。

詳細図

[06] [05] [04] [01]

2　リリースコードの調整

G 図

リリーズコードの一番下が、図のように薄型テレビの下部の位置に一致するように調整します。

この位置に合わせる

3　壁面取付金具の木柱への取付

木柱の位置を探す

（1）千枚通しや、細い釘や、高性能柱センサーを使って、木柱の中央の位置を確認します。

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意して下さい。又適切に作業しないと壁面取付金具がしっかりと取り付けられません。

（2）壁面を覆う材料は 16 mm を超えないようにして下さい。

通常の木柱の寸法 : 通常 51 x 102 mm (2 x 4 in.)。
最小　38 x 89mm (1.5 x 3.5in)

コンパネ等の材料の厚さ 16mm 以下

禁止

注意
金具を取り付ける壁面は、最大 13.6kg のテレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

高性能な間柱センサーで柱の位置を確認する

H 図

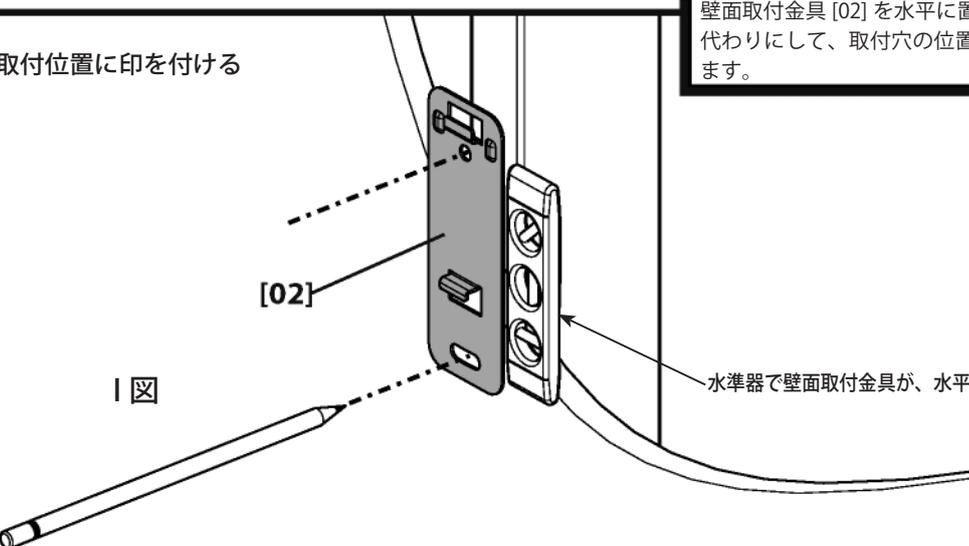
3　壁面取付金具の木柱への取付のつづき

取付位置に印を付ける

壁面取付金具 [02] を水平に置いて、これを型紙代わりにして、取付穴の位置に 2 箇所印を付けます。

[02]

I 図

水準器で壁面取付金具が、水平に取り付くよう確認する

取付用下穴を開ける

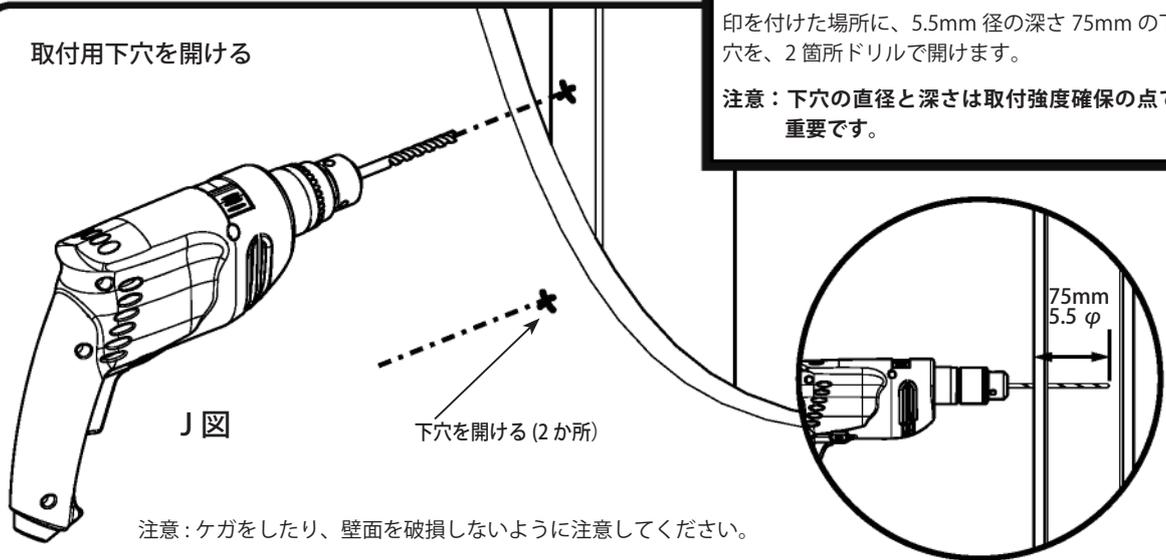
印を付けた場所に、5.5mm 径の深さ 75mm の下穴を、2 箇所ドリルで開けます。

注意：下穴の直径と深さは取付強度確保の点で重要です。

75mm
5.5 φ

J 図

下穴を開ける (2 か所)

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

壁面取付金具を固定する

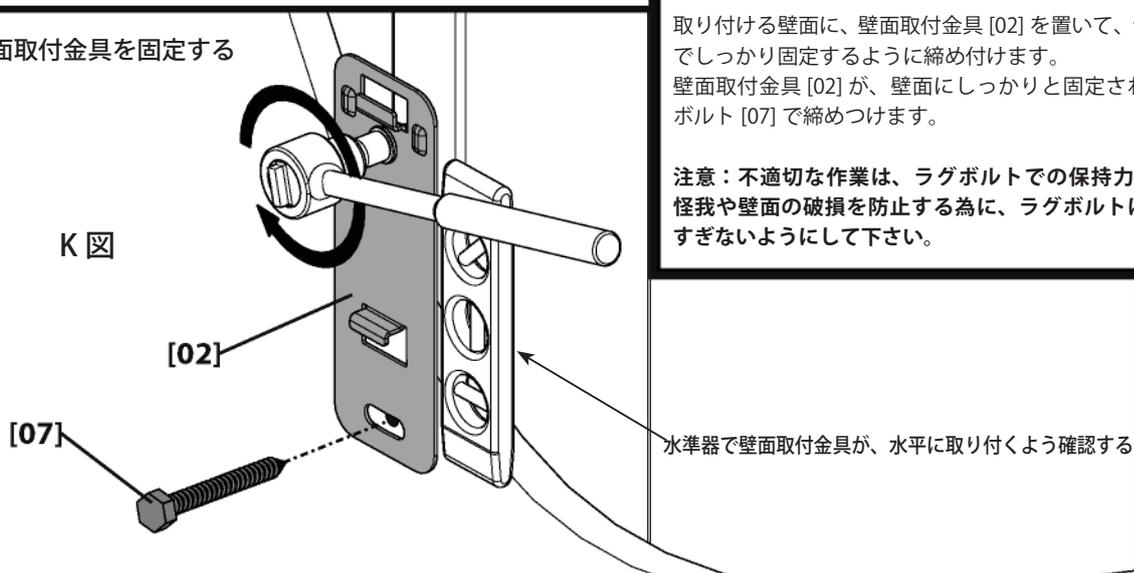
取り付ける壁面に、壁面取付金具 [02] を置いて、ラグボルト [07] でしっかり固定するように締め付けます。
壁面取付金具 [02] が、壁面にしっかりと固定されるまで、ラグボルト [07] で締めつけます。

注意：不適切な作業は、ラグボルトでの保持力が減少します。怪我や壁面の破損を防止する為に、ラグボルトは、[07] を締めすぎないようにして下さい。

K 図

[02]

[07]

水準器で壁面取付金具が、水平に取り付くよう確認する

4　壁面取付金具のコンクリート又はコンクリートブロックへの取付

取付位置に印を付ける

水準器で壁面取付金具が、水平に取り付くよう確認する

L 図

[02]

図のように、壁面取付金具 [01] を型紙代わりに水平に置いて、穴の位置に 2 箇所印を付けます。

・壁面取付金具 [02] は、コンクリート壁面に直接取り付けます
・コンクリートの最小の厚さは 203mm（8in)

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

禁止

注意：金具を取り付ける壁面は、最大 13.6kg のテレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが､専門的に壁面を診断の上､最適な工法を決めて工事して下さい。「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

取付用下穴を開ける (2 カ所)

M 図

注意：下穴の直径は 10mm、深さは 75mm とします。

注意 : フロック間の繋ぎ目に取り付けないで下さい。

75mm

コンクリートアンカーを取り付ける。

N 図

[08]

注意：怪我や、壁面の破損を防止する為にコンクリートアンカー [08] が、コンクリートの壁面にきちっとそろって取り付けます。

壁面取付金具を固定する

O 図

[02]

[07]

水準器で壁面取付金具が、水平に取り付くよう確認する

取り付ける壁面に、壁面取付金具 [02] を置いて、ラグボルト [07] でしっかり固定するように締め付けます。
壁面取付金具 [02] が、壁面にしっかりと固定されるまで、ラグボルト [07] で締めつけます。

注意：不適切な作業は、ラグボルトでの保持力が減少します。怪我や壁面の破損を防止する為に、ラグボルトは、[07] を締めすぎないようにして下さい。

5　薄型テレビを壁面に取付ける

薄型テレビに取り付けたモニターブラケット [01] の上部の穴を、壁面取付金具 [02] の上部のフックに引っかけます。

注意：重量があるので、大人 2 人で取付作業を行って下さい。

[01]

[02]

P 図

薄型テレビに取り付けたモニターブラケット [01] の下部を、壁面取付金具 [02] に向けて押し、モニターブラケット [01] のロックタブを、壁面取付金具 [02] の下部のフックに引っかけます。ロックタブが所定の位置に収まると、カチッと音がします。

[01]

SANUS

Q 図

壁面取付金具 [02] からモニターブラケット [01] と取り外すには、先ずリリーズコードを引いて下部のロックタブを外します。
次に壁面取付金具 [02] の底部から、モニターブラケット [01] を外し、最後に上部のフックからモニターブラケットを持ち上げるようにして取り外します。

R 図

４．各部の特徴

A

モニターブラケット

対応 VESA パターン
200mm x 100mm
100mm x 100mm
75mm x 75mm

SANUS

B

ロッキングタブ

モニターブラケットを壁面取付金具に固定する

C

調整可能レリースコード

簡単に壁面取付金具から取り外す

D

壁面取付金具

簡単に水平にするための穴パターンがあります

S 図

５．外観図

200
100
75
152.4
111.6
75
100
15.7
最長 254
253.5
54.1
152.4
112.3

T 図

単位： mm
尺度：任意

VSL12 ver1.0-2